



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 コーユーレンティア株式会社 上場取引所 東
コード番号 7081 URL <https://www.koyou.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）梅木 孝治
問合せ先責任者 （役職名）経営企画室長 （氏名）大野 健二郎 TEL 03-6365-6505
半期報告書提出予定日 2026年8月7日 配当支払開始予定日 2026年9月30日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	17,295	△1.5	1,563	0.4	1,604	2.0	858	△2.0
2025年12月期中間期	17,561	7.5	1,557	34.4	1,573	34.4	876	36.8

（注）包括利益 2026年12月期中間期 873百万円（△0.7％） 2025年12月期中間期 879百万円（36.3％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	77.04	75.36
2025年12月期中間期	79.27	77.56

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	19,974	13,263	66.1
2025年12月期	20,533	12,627	61.2

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 13,211百万円 2025年12月期 12,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	10.00	—	26.00	36.00
2026年12月期	—	10.00			
2026年12月期（予想）			—	27.00	37.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,000	0.9	2,800	△6.8	2,800	△6.7	1,700	△12.3
								152.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	11,222,600株	2025年12月期	11,122,600株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	642株	2025年12月期	642株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	11,145,162株	2025年12月期中間期	11,052,177株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2026年8月26日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ウェブサイト（<https://www.koyou.co.jp/ir/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
（1）当中間期の経営成績の概況	2
（2）当中間期の財政状態の概況	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（表示方法の変更）	9
（セグメント情報等の注記）	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における売上高は、17,295百万円（前年同期比1.5%減）となりました。営業利益は、1,563百万円（前年同期比0.4%増）となりました。経常利益は1,604百万円（前年同期比2.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は858百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

（レンタル関連事業）

レンタル関連事業では、建設現場向け市場において、働き方改革に基づく高価格帯商品の需要増に加え、仕入価格及び物流費等のコスト上昇に伴う価格転嫁の進展により、1件当たりの受注単価が過去最高となったほか、新規受注案件が増加しました。イベント向け市場においては、前期の2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）プロジェクトの反動減があったものの、過去の大型案件における取引実績を契機とした新規取引先の拡大が寄与し、受注件数は過去最高となりました。常設オフィス向け市場においては、職場環境の整備を目的としたオフィス移転が活発化する中、ファシリティ・マネジメントサービスにおいて、受注件数が堅調に推移しました。一方で、法人向け市場においては、新規案件の獲得に注力したものの、既存のBPO案件の規模縮小による減収を補うには至りませんでした。これらの結果、事業全体の売上面では、前年同期比で増収となりました。

事業全体の利益面では、建設現場向け市場の好調に加え、利益率の高い戦略商品（※1）の売上高が増加したことにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は10,100百万円（前年同期比1.3%増）となりました。また、セグメント利益は1,087百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

（スペースデザイン事業）

スペースデザイン事業では、前期の2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）プロジェクトの反動減があったものの、これまで取引のなかった大手デベロッパーから複数案件を受注したことにより、前年同期比で増収となりました。

事業全体の利益面では、ビルダー業務におけるモデルルームの新築工事に加え、イメージング業務における販売センターの映像・音響システム販売及び設置工事が好調に推移したことにより、前年同期比で増益となりました。

また、2026年の新規事業であるRE-VALUE事業（中古マンション買取・再販）においては、これまでの高級住宅リノベーションの実績と「グッドデザイン賞」を受賞したデザイン設計力を生かし、成約に繋がりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は3,327百万円（前年同期比1.0%増）となりました。また、セグメント利益は246百万円（前年同期比54.3%増）となりました。

（物販事業）

物販事業では、私立大学の新校舎竣工及び民間企業の本社リノベーションに伴うFF&E（※2）等を納入しました。しかしながら、前期に計上した特許庁及び最高裁判所向けの大型案件並びに虎ノ門再開発案件の反動減に加え、主に郵政向け市場及び官公庁向け市場において新規の大型案件の受注が伸び悩んだことから、前年同期比で減収となりました。

事業全体の利益面では、売上高が減少したほか、人件費の増加により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は1,527百万円（前年同期比22.0%減）となりました。また、セグメント利益は58百万円（前年同期比65.1%減）となりました。

（ICT事業）

ICT事業では、既存取引先への営業強化及びパートナー企業とのアライアンス効果による売上高の増加があったものの、大型BPO案件の減少及びコピーカウンターサービスの需要低迷の影響を受け、前年同期比で減収となりました。

事業全体の利益面では、前述の大型BPO案件及びコピーカウンターサービスの売上高減少により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,339百万円（前年同期比0.1%減）となりました。また、セグメント利益は179百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

（※1）戦略商品：高付加価値で、差別化が図れる機能性やデザイン性を重視した商品等。

（※2）FF&E：Furniture（家具）、Fixture（什器）&Equipment（備品）の略称。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ559百万円減少し、19,974百万円となりました。これは主に、現金及び預金が339百万円増加した一方、仕掛品が342百万円、受取手形及び売掛金が291百万円、電子記録債権が272百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,195百万円減少し、6,710百万円となりました。これは主に、未払金及び未払費用が354百万円増加した一方、買掛金が763百万円、未払法人税等が273百万円、未払消費税等が217百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ636百万円増加し、13,263百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が569百万円、新株予約権の権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ26百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて339百万円増加し、3,897百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は1,959百万円（前年同期は2,919百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,604百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1,331百万円（前年同期は1,009百万円の使用）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出1,088百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は289百万円（前年同期は1,147百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額288百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「2026年12月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,558,035	3,897,117
受取手形及び売掛金	4,170,806	3,879,477
契約資産	5,637	—
電子記録債権	782,305	509,870
リース投資資産	161,613	142,880
商品及び製品	163,687	288,680
仕掛品	442,066	99,489
原材料及び貯蔵品	30,744	31,269
前払費用	535,060	510,588
未収入金	310,663	256,061
その他	297,680	119,372
貸倒引当金	△3,260	△2,940
流動資産合計	10,455,042	9,731,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	973,879	979,636
機械装置及び運搬具（純額）	25,209	23,613
工具、器具及び備品（純額）	82,513	85,910
賃貸用備品（純額）	2,677,780	2,740,047
土地	3,771,295	3,771,295
リース資産（純額）	148,282	133,845
建設仮勘定	37,926	43,426
有形固定資産合計	7,716,887	7,777,774
無形固定資産		
のれん	186,526	164,582
顧客関連資産	270,886	252,204
ソフトウェア	292,383	315,816
その他	17,271	17,234
無形固定資産合計	767,067	749,837
投資その他の資産		
投資有価証券	214,788	384,529
繰延税金資産	327,650	213,988
差入保証金	792,758	843,401
その他	260,340	273,844
貸倒引当金	△804	△804
投資その他の資産合計	1,594,732	1,714,959
固定資産合計	10,078,687	10,242,571
資産合計	20,533,730	19,974,439

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,475,546	1,711,755
電子記録債務	1,398,443	1,223,862
未払金及び未払費用	675,588	1,030,418
未払法人税等	941,358	668,312
未払消費税等	395,637	178,479
預り金	193,379	95,734
リース債務	100,784	99,276
契約負債	195,122	252,508
賞与引当金	629,413	555,002
株主優待引当金	—	28,000
資産除去債務	19,067	—
その他	61,432	36,181
流動負債合計	7,085,774	5,879,530
固定負債		
リース債務	222,909	190,057
役員退職慰労引当金	265,936	283,854
退職給付に係る負債	2,882	2,942
資産除去債務	299,243	325,759
その他	29,554	28,816
固定負債合計	820,526	831,431
負債合計	7,906,301	6,710,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,520	1,018,620
資本剰余金	1,039,397	1,065,497
利益剰余金	10,484,347	11,053,848
自己株式	△522	△522
株主資本合計	12,515,744	13,137,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,940	74,488
その他の包括利益累計額合計	59,940	74,488
新株予約権	51,744	51,544
純資産合計	12,627,428	13,263,477
負債純資産合計	20,533,730	19,974,439

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	17,561,888	17,295,011
売上原価	10,594,750	10,043,999
売上総利益	6,967,137	7,251,011
販売費及び一般管理費	5,409,416	5,687,354
営業利益	1,557,720	1,563,657
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,679	20,893
作業くず売却益	3,378	7,970
その他	20,636	21,158
営業外収益合計	27,694	50,022
営業外費用		
支払利息	9,868	3,731
損害賠償費用	561	2,751
その他	1,254	2,295
営業外費用合計	11,684	8,779
経常利益	1,573,730	1,604,901
特別利益		
固定資産売却益	—	376
特別利益合計	—	376
特別損失		
固定資産除却損	1,107	509
特別損失合計	1,107	509
税金等調整前中間純利益	1,572,623	1,604,767
法人税、住民税及び事業税	681,969	639,126
法人税等調整額	14,507	106,969
法人税等合計	696,476	746,096
中間純利益	876,147	858,671
親会社株主に帰属する中間純利益	876,147	858,671

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
中間純利益	876,147	858,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,045	14,548
その他の包括利益合計	3,045	14,548
中間包括利益	879,192	873,219
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	879,192	873,219

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,572,623	1,604,767
減価償却費	1,086,292	1,119,768
のれん償却額	21,944	21,944
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△7,889	△320
賞与引当金の増減額（△は減少）	33,196	△74,411
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	60	60
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△1,239	17,918
株主優待引当金の増減額（△は減少）	26,000	28,000
受取利息及び受取配当金	△3,679	△20,893
支払利息	9,868	3,731
有形及び無形固定資産除却損	1,107	509
有形及び無形固定資産売却損益（△は益）	—	△376
売上債権の増減額（△は増加）	133,673	563,764
契約資産の増減額（△は増加）	16,390	5,637
棚卸資産の増減額（△は増加）	69,637	217,058
仕入債務の増減額（△は減少）	△227,030	△938,371
未払金の増減額（△は減少）	334,225	304,317
未払消費税等の増減額（△は減少）	△70,398	△215,901
その他	62,472	199,541
小計	3,057,254	2,836,743
利息及び配当金の受取額	3,679	20,893
利息の支払額	△10,733	△4,980
法人税等の支払額	△131,066	△893,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,919,134	1,959,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,006,667	△1,088,321
有形及び無形固定資産の売却による収入	5,788	4,395
投資有価証券の取得による支出	—	△148,499
保険積立金の積立による支出	△13,561	△13,504
その他の支出	△5,669	△90,401
その他の収入	10,985	5,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,009,126	△1,331,124
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△700,000	—
長期借入金の返済による支出	△87,648	—
リース債務の返済による支出	△45,641	△53,152
新株予約権の行使による株式の発行による収入	15,823	52,000
配当金の支払額	△329,937	△288,205
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,147,403	△289,357
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	762,604	339,081
現金及び現金同等物の期首残高	2,104,417	3,558,035
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	82,589	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,949,611	3,897,117

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（中間連結損益計算書）

前中間連結会計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「販売奨励金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当中間連結会計期間においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、「営業外収益」の「販売奨励金」に表示していた6,637千円、「その他」13,998千円は、「その他」20,636千円として組み替えております。

前中間連結会計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「損害賠償費用」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書の組替えを行っております。

この結果、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた1,816千円は、「損害賠償費用」561千円、「その他」1,254千円として組み替えております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額（注）
	レンタル 関連事業	スペース デザイン事業	物販事業	I C T 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	9,968,420	3,293,065	1,959,543	2,340,858	17,561,888	—	17,561,888
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	258,961	6,399	16,982	1,444,900	1,727,244	△1,727,244	—
計	10,227,382	3,299,464	1,976,526	3,785,759	19,289,132	△1,727,244	17,561,888
セグメント利益	1,006,503	159,594	167,430	221,864	1,555,392	2,328	1,557,720

（注）セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	中間連結 損益計算書 計上額（注）
	レンタル 関連事業	スペース デザイン事業	物販事業	I C T 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,100,340	3,327,577	1,527,931	2,339,162	17,295,011	—	17,295,011
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	307,241	8,287	17,788	1,260,684	1,594,001	△1,594,001	—
計	10,407,581	3,335,865	1,545,719	3,599,847	18,889,013	△1,594,001	17,295,011
セグメント利益	1,087,005	246,328	58,395	179,270	1,570,999	△7,342	1,563,657

（注）セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。